

理研会報

行 部
印刷部 理科研究部
事務局
成田市幸町948
成田小学校内

郡展・県展から

出品点数二五三點 展覧八四三點

先づ、郡理科作品展審査結果についてお知らせいたしました。郡展には二五三點の作品が各部会より出品され、五四點が入賞しました。五四點の作品のうち四三點が展覧に出展されました。

出品作品のうち次の五點が入賞しました。

- ・金賞 ゴムの弾性と温度論 上志津中 佐田 尚子
- ・銀賞 金葉刺繍の印刷法についてのおぼやき 徳島小 佐藤 龍里
- ・銅賞 アゲハ蝶の研究論(おぼやき) 久住 二小 阿波崎 啓子
- ・賞 河の観察論 四野道小 田田 帆世
- ・賞 上志津中 佐田 尚子

◎郡展をみよの雑評

科学工夫

例年のごとく、各部会とも制限点制、今回の作品が出品されました。

作品全体の傾向をみると、低学年では磁石やゴム、動力などを利用して動かすものが多く、高学年になるにつれ、モーターを利用した作品が数多くみられました。

また、低学年には、見ていて楽しくなるもの、夢のあるもの、おもしろい動きのあるものが多く、高学年では、実用的で実際に使えるものや適するものがみられました。

しかし、中学年は、出品点数のわりに「低学年なら良い作品なのに」と思えるものや、逆にや

な学校もみられ、作品がしっかりしている。

最後に、以前にも言われていることだが、理科作品を作る前段階として、小中学校では、授業を発展させた作品、作ることで自分が楽しい作品、作ったもので遊ぶことが楽しい作品を大切にしていければよいのではないかと思います。

論 文

(玉置小 木川 香)

今年も一二年と一番多くの作品が出品され、審査する側としては大変です。作品自体の内容も充実し、甲乙つけがたいものが揃ってきています。

小中学校の作品ではやはり、昔から発展したものも多く、一年生ではアウガオ、二年生ではコマ、三年生では八千馬と作品に傾向がみられました。これらの作品は四月から十月頃までの継続観察です。低学年の子どものころにあってはたいへんだ、たろうと思われ、四年生以上の作品となる。学習の発展等もみられますが、それぞれの子どもが興味をもったものを調べ、追求していく様子がみられました。中でも、昨年の作品をさらに継続、内容を深めているものがみられ、さらに続けていてほしいと思われました。

全体的に反省してみると、動機を、まじりこめるとよい。動機を、まじりこめることからは、目的が、まじりし、内容も何を求めるのが明確になってくると思

う。作品が学習したものにとどまらず、さらに発展させることで深みのある作品になっていくと思

う。見やすい内容にし、自分の言いたいことが、まじりと打ち出せるとよい。言いたいことが明確に打ち出されるとよいことは、論文の発表等にも通じることである。また大きさは、模造紙の半分にし、とじられているとよい。

終りに先生方の指導でさらによい作品にして、ほしいものと思ひます。今年の作品は、今年のものでなくさらに深めていくことで充実した内容になっていくでしょう。

標 本

標本

標本は郡展までです。しかし、今年度は昨年以上まわる出品数でした。興味関心をもつ、児童の力作はその児童のためにおおいに出品すべきものと思ひました。審査しての感想を述べます。

・植物標本 乾燥があまり台紙にしみがついたりしているものがある。標本の一つの目的として保存性も考えたものでなくてはならない。また葉のひろげ方が雑なもののみられた。葉めれば良いというのではなく、細かい作業の様子

がつかえると思ひます。昆虫標本 高度な技術を發揮した力作が目

まうばった。量的にもすばらしいものもあつたが、蝶の展翅等その方法を教えてあげれば、小学生にも十分させる筈、その点で残念な作品があつた。同じ昆虫でも標本、整理など分類されると作品にも深みが出てくると思ひます。

・低学年の出品展覧の少なかつたのが氣になつた。自然とのふれあひを重視する意味からも、目を向けさせてほしいものである。論文ではないので詳しい説明は不要であるが、ちよつとした動機、説明があると理解しやすくなり、子どもの気持ちも伝わる。

終りに、来年度の作品作りを今からはじめ継続したものを完成させること、指導、ヒントを与えていただくことをつけ加えておきます。

(中央小 安井 壽藏)

中学校の部

今年度は例年になく科学論文が多数出品され、充実した内容の研究が見られました。しかしながら、研究期間が短いためデータ不足のものが目立ちました。夏休みだけの研究ではなく、一年、二年と継続したものが出てくるには、教師の指導、助言が望まれます。

今回の作品中にも途中で指導を加えてやれば良いものになつたと思ひれるものがありました。

・地帯分野 日食、流星群の観察など天文に関するものが多かつたが、観測して写真にとつただけのものが

多くデータ不足である。

・生物分野 花粉管の観察、アマガエルの体色の変化など日常疑問に思うことと観察し、内容、データとも良かった。その他力に、環境変化と植物など力作があつた。物理、化学分野 物理関係では淀の観察、ゴムの弾性と温度の二点がすぐれていた。化学分野では、取りあげて良いものはなかつた。

・科学工夫 出品数も少なく内容的にもあまり良いとはいえない。中にはスリッパを入れても作動せず目的を達成できないものもあつた。また発想が良いが模倣から抜き出られないものもあり、工夫不足を感じた。

全体を通じていえることは、個人研究作品が目立ち、共同研究が少ないことです。これは短期間の研究ではデータ不足を生む一因となります。十分な資料を集めるには共同で行なえば、実験等も分担できるし、短期間に多くの資料を集めることができます。

最後に留意してほしいことは、①動機を、まじり述べる。②工夫した点を強調する。③データを多くして法則を発見する。

④参考文献をいれる などは、必ず。

・早展の入賞が少なかつたようです。来年はがんばりましょう。